

2020年度 シラバス原簿					タイトル	講義内容と事前事後学習内容	
科目名 英題名	総合科学特論「現代社会を講る」 General Science				1 週	事前 2.5hr シラバスの内容を読んでおく。講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。 授業、講師、成績判定の方法等を説明する。創立期の社会的背景を含めて千葉工大の創立の意義や目的を解説し、現代における千葉工大の目的と、そこで学ぶ意味を考察する。【講義担当:小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】	
	科目 担当者	小宮 一仁				事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。	
開講学期		時間数	単位	科目の区分	曜日時間	履修制限	2 週
	4・6学期						2
目的	[目的] 学生の知識・教養を高め、果敢にして実行力のある意志を培い、豊かそして堅実な人格を陶冶するために、現代社会の仕組みを総合的に教授することを目的とする。 [授業概要] 120分を、①授業の紹介、②途中休憩を挟んで90分の講義、③約20分の討議。①と③の進行・コーディネイトは毎回小宮学事顧問が行う。②の講義は、授業計画のとおり学事顧問と特別教授が担当する。				課題解決型	✓	
					グループワーク		
注意事項・ 学習アドバイス	※5・6限の講義あるいは7・8限の講義のいずれかひとつを履修してください。 ※新型コロナウイルス感染症対策のため、この授業は、全てオンラインによるライブ配信形式で行います。 ※この科目は寄付講座ですので、担当講師は千葉工業大学学事顧問及び千葉工業大学特別教授となります。講義に関するお問い合わせは、教務課に伝達して下さい。				ディスカッション	✓	
					ディベート	✓	
到達目標	・自分が学んでいる専門分野と現代社会の動向を結びつけて考えることができる。 ・工学分野が現代社会と強い関係性にあることを理解し、その一例を説明することができる。				プレゼン		
					実験・実習・演習	✓	
評価基準	ガイダンスを除く各タイトル(7回)の講義終了後に、講義内容に係わるそれぞれ100点満点の理解度確認テスト(レポート提出の場合もある)を実施し、全テストの合計が420点以上のものを合格とする。(テストの回答数が4回未満の場合には、成績評価を行わない。)				フィールドワーク		
					期末試験 0%	中間試験 0%	小テスト(13回) 100%
関連科目	なし				6 週	現代社会とインフラ 事前 2.5hr インフラの定義について調べて、まとめておく。 我が国の経済成長を牽引し国民生活の安全安心を支えてきた道路、河川、港湾、空港などのインフラは、今、深刻な課題に直面している。インフラを管理する自治体の技術系職員不足による維持管理問題、頻発する大規模災害から国民の生命財産を守るためのインフラ整備のあり方、我が国のこれからの成長を支える次世代インフラ整備など、解決すべき課題は山積している。これらインフラ関係する課題について学生の皆さんが自分事として議論し、その解決に向けた方向性と一緒に探ってみたい。【講義担当:菊地智習雄特別教授(国土交通省技監)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】 事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。	
					7 週	現代社会と財政(1) 事前 2.5hr 日本の財政制度について調べて、まとめておく。 政府部門の経済活動は国民経済の中で大きな存在になっている。財政学の基本的な理論や仕組みを習得して知識を深め、日本の財政制度や現況に関心を持つことは、これから社会人になっていく上で必要なことである。1週目は、政府の役割、予算制度、歳入歳出の規模と内容、財政赤字と公債発行、財政再建について考察していく。【講義担当:田代政司特別教授(元会計検査院事務総長)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】 事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。	
参考書・参考資料等	必要に応じて別途案内します。				8 週	現代社会と財政(2) 事前 2.5hr 日本の社会保障制度の構造について調べて、まとめておく。 政府部門の経済活動は国民経済の中で大きな存在になっている。財政学の基本的な理論や仕組みを習得して知識を深め、日本の財政制度や現況に関心を持つことは、これから社会人になっていく上で必要なことである。2週目は、歳出の大宗を占める社会保障費、とりわけ医療、年金、介護に焦点を当てその制度と運用の両面から展望し、また、歳入については、租税の基礎理論に加えて基幹的税目である所得税、法人税、消費税を概観していく。【講義担当:田代政司特別教授(元会計検査院事務総長)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】 事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。	
					9 週	現代社会と政治 事前 2.5hr マスメディアの役割について調べて、まとめておく。 日々刻々と変化する政治情勢やそれを伝える報道の基本的な仕組みについて講義する。また、世界の中で日本が置かれている状況や、日本の政治に求められている役割についても触れる。【講義担当:石橋文登特別教授(元産経新聞編集局長・政治部長)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】 事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。	
参考書・参考資料等	必要に応じて別途案内します。				10 週	現代社会と日本型イノベーション 事前 2.5hr 日本社会におけるイノベーションの事例を調べて、まとめておく。 日本社会は、イノベーションが起こりにくいと言われていた。しかし、日本の歴史を振り返ると、現代のイノベーションに繋がる発想が表れていることに気が付く。日本文化への理解を深め、その言葉を知ることが次のイノベーションに繋がる。日本中世芸能の文獻である「風姿花伝」がテキストにして、日本型イノベーションの思想を学ぶ。発想を変え、開放していくための方法がそこにはある。ピーター・ドラッカーと世阿弥を考えてみよう。【講義担当:土屋恵一郎特別教授(前明治大学学長)、小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】 事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。	
					11 週	科学技術の変遷と国家(1) 事前 2.5hr アルキメデスの功績や人物像について調べて、まとめておく。 古代から中世に至る科学技術の変遷と、時々々の先進技術や工学が国の発展にどのように寄与したかについて教授する。【講義担当:小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】 事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。	
参考書・参考資料等	必要に応じて別途案内します。				12 週	科学技術の変遷と国家(2) 事前 2.5hr 産業革命について調べて、まとめておく。 中世から近代に至る科学技術の変遷と、時々々の先進技術や工学が国の発展にどのように寄与したかについて教授する。【講義担当:小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】	
					13 週	科学技術の変遷と国家(3) 事前 2.0hr Aterコロナに科学技術が果たすべき役割を考え、まとめておく。 近代から現代に至る科学技術の変遷を教授し、新型コロナウイルス感染症後見の世界を見据えて、千葉工業大学の学生が何を学び、何を身に付けるべきかというところ、各界の意見を紹介しつつ、考察する。【講義担当:小宮一仁学事顧問(前千葉工業大学学長)】 事後 2.0hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。	